

執筆者紹介（掲載順）

執筆者

- ①所属と職位、②専門分野、③主な担当科目、
- ④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

吉田 朋彦

- ①国際人文学部国際交流学科 教授
- ②言語学、日本語の意味研究、指示詞とその研究史
- ③「言語学概論」、「言語学」、「日本文化研究（言語）A・B」ほか
- ④「研究史としての「こそあど」—佐久間鼎のリズム研究から指示詞論まで—」（上野善道（監修）『日本語研究の12章』、明治書院 2010年）、「W. G. アストンの『文語文典』における「活用しない主要語」の改訂—記述の視点と人名代名詞・指示代名詞の体系の再編—」（『城西国際大学紀要』第29巻第2号）など。

林 千賀

- ①国際人文学部国際交流学科 教授
- ②中間言語語用論、日本語教育、異文化間コミュニケーション
- ③日本語教授法、日本語文法B、大学院では、日本語教育研究（意味論・語用論）の科目担当。ゼミは、国際交流演習の他、大学院は、グローバルコミュニケーション演習、国際日本学研究指導を担当。
- ④（共著）『ホテルの日本語 心で伝える接客コミュニケーション』アスク出版、2023年。（共著）『おもてなしの日本語基本編』アスク出版、2020年。（共著）「ホテル接客業務で必要とされるコミュニケーション能力の評価指標の作成—言語能力のCEFRレベル付け—」『観光ホスピタリティ教育』p.2-16、日本観光ホスピタリティ教育学会、2023年。地域貢献は、2022年より山武市の外国人児童・生徒のための日本語支援として交流会をゼミ生と毎月行っている。

瀧 章次

- ①国際人文学部国際交流学科 教授
- ②西洋古典学
- ③倫理学概論、根拠への問い—哲学への扉、文学のはじまり—古代ギリシア・ローマの文学、世界の文学、美学芸術学
- ④ 'Hypotheses on the Textual Transmission of Plato's *Euthydemus*'（『城西国際大学大学院紀要』26（2022）67-88）；「講義科目「キリスト教政治倫理」の軌跡（2017-2021年度）と課題」（『青山スタンダード論集』18（2023）73-87）；（福）世田谷ボランティア協会 評議員；中野区ラグビー協会理事（東京都）；区政ウォッチ&学ぶ会（東京都世田谷区）。

Benjamin Adkins

- ① Assistant Professor, Center for Language Education
- ② International Policy Studies, Children's Education, Cross-Cultural Communication, SDGs for Young Learners
- ③ English Teaching Methodology, Oral English for Children, Fundamentals of English I, Fundamentals of English II, Oral Fluency I, Oral Fluency II, Oral Fluency III, Oral Fluency IV, Basic Writing Skills, Intermediate Practical Discussion Skills.
- ④ Benjamin Adkins is an assistant professor in the Center for Language Education at Josai International University. He teaches children's education, oral communication, grammar and writing skills. He has an M.A. in International Policy Studies with an emphasis in cross-cultural communication and east Asian languages and cultures. He specializes in EFL development of elementary students and teacher training, and his publications include Developments in English Teaching Methodology, Motivating Young Japanese EFL Learners and an analysis of the U.S.-Japan trade imbalance concerning video games.

亀井みどり

- ① 国際人文学部国際文化学科 助教
- ② 韓国語学（語彙論）
- ③ 韓国語コミュニケーション（書く・読む）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日韓翻訳技法Ⅰ・Ⅱ、韓国語プロジェクトB、国際文化演習（日韓の言語と文化）
- ④ 「形容詞「착하다」の用法記述の試み—一人の性格や言動を肯定的に評価する意味に限定して—」（『城西国際大学紀要』第31巻第2号、2023年）、共著『オンライン国際交流と協働学習—多文化共生のために—』第6章オンライン交流学習における「協働」のあり方の模索—ある日韓混合グループに生じた非協働性の問題に着目して—（くろしお出版、2022年）など。

本城美和子

- ① 語学教育センター兼留学生別科 助教
- ② 日本語教育、多文化共生、CLIL
- ③ 日本語基礎、日本語初級、日本語初中級、日本語中級、日本文化演習、日本語試験対策講座、基礎ゼミ
- ④ 「中級レベルにおける受容から産出への取り組み—学んだ知識・語彙を意見の理由づけとして使用し話す活動—」JIU日本語教育 実践報告集創刊号（2020年）「CLILと技能別学習を融合させた総合活動—日本語初中級クラスを例に—」JIU日本語教育 実践報告集4号（2023年）など、初級～中級レベルの口頭産出活動の実践研究に取り組んでいる。

佐藤 明子 ①語学教育センター兼留学生別科 助教
②日本語教育、教育文法
③Fundamental of Japanese、Advanced Japanese Skills、異文化コミュニケーション、統合日本語、日本文化演習
④多文化共生における情報伝達、及びコミュニケーションのツールとして「やさしい日本語」(2022年度城西国際大学コミュニティカレッジ秋講座) 講座の開講や「初級日本語教科書で文法項目はどのように紹介されているのか—継続動詞テイルの『使い方に』注目して—」第60回日本語教育方法研究会など、実践研究に取り組んでいる。

吉城寺尚子 ①国際人文学部国際交流学科 教授
②西洋美術史、表象文化論
③西洋美術
④「〔書評〕前田良三著『ナチス絵画の謎—逆襲するアカデミズムと「大ドイツ美術展」』『城西国際大学紀要』31(2)(2023)：159-167.

渡邊 拓 ①国際人文学部国際文化学科 准教授
②日本近代文学
③日本文学概論、日本の文学(近・現代)、日本語表現
④「大正中期の映画と小説」(『都大論究』第49号、2012年)、「映画と谷崎潤一郎の小説について(一)」(『城西国際大学紀要』第30巻第2号、2021年)など。